



## ユーザとエンドポイントの関連付け

- [ユーザとエンドポイントの関連付けの概要, 1 ページ](#)
- [ユーザとエンドポイントの関連付けに関する前提条件, 1 ページ](#)
- [ユーザおよびデバイス設定のタスク フロー, 1 ページ](#)
- [ユーザとエンドポイントの関連付けに関する連携動作と制約事項, 6 ページ](#)

### ユーザとエンドポイントの関連付けの概要

この章では、エンドユーザとアプリケーションユーザをデバイスに関連付ける方法について説明します。エンドユーザは、自身に関連付けられるデバイスを制御できます。ユーザとして特定されたアプリケーションは、電話やコンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) ポートなどのデバイスを制御できます。

### ユーザとエンドポイントの関連付けに関する前提条件

エンドポイントと関連付ける前に、エンドユーザとアプリケーションユーザを設定します。[エンドユーザとデバイスの関連付け, \(2 ページ\)](#) および [アプリケーションユーザとデバイスの関連付け, \(5 ページ\)](#) を参照してください。

### ユーザおよびデバイス設定のタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">エンドユーザとデバイスの関連付け, (2 ページ)</a> .	エンドユーザをデバイスと関連付けます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	アプリケーションユーザとデバイスの関連付け, (5 ページ) .	アプリケーションユーザをデバイスと関連付けます。

## エンドユーザとデバイスの関連付け

Cisco Unified Communications Manager では、エンドユーザ ID の重複は許可されていません。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2** [アプリケーションユーザの検索/一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウで、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** エンドユーザのリストを表示するウィンドウで、該当するエンドユーザのリンクをクリックします。
- ステップ 4** [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、[デバイス情報 (Device Information)] 領域までスクロールダウンし、エンドユーザに関連付けるデバイスを選択します。[利用可能なデバイス (Available Devices)] ボックスで、アプリケーションユーザに関連付けるデバイスを選択し、ボックスの下にある下矢印をクリックします。
- (注) [デバイス情報 (Device Information)] 領域にデバイスがない場合は、[デバイスの割り当て (Device Associations)] ボタンをクリックして、[ユーザとデバイスの関連付け (User Device Association)] ウィンドウを開きます。1 つまたは複数のデバイスを選択し、[選択/変更を保存 (Save Selected/Changes)] ボタンをクリックします。選択したデバイスは、[デバイス情報 (Device Information)] 領域の [制御されたデバイス (Controlled Devices)] リストボックスに表示されます。次に、ステップ 1 ~ 4 に従ってデバイスを関連付けます。
- ステップ 5** (任意) ラインアピアランスをプレゼンスのエンドユーザに関連付けるには、またこのラインアピアランスがオフフックの場合に、IM and Presence のクライアントに対して通話中のステータス情報を有効にするには、[ラインアピアランスのプレゼンスからの関連付け (Line Appearance Association from Presence)] ボタンをクリックします。[ラインアピアランスのプレゼンスとの関連付け (Line Appearance Association for Presence)] ウィンドウが表示され、ここで製品タイプ、デバイス名、ディレクトリ、パーティション、または説明を選択できます。このウィンドウで利用できる選択肢は、制御されたデバイスと関連付けられた回線によって異なります。[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、関連項目のセクションを参照してください。
- ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックします。
-

## 次の作業

[アプリケーションユーザとデバイスの関連付け](#), (5 ページ)

## 関連トピック

[エンドユーザおよびデバイス構成時の設定](#), (3 ページ)

## エンドユーザおよびデバイス構成時の設定

表 1: ユーザ情報

フィールド	説明
ユーザ ID (User ID)	エンドユーザの識別名を入力します。Cisco Unified Communications Manager では、ユーザ ID の作成後の変更はできません。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、“”、および空白です。
[パスワード (Password) ]	英数字または特殊文字を使用して、5 文字以上のエンドユーザのパスワードを入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、“”、および空白です。
[PIN]	パーソナル ID 番号として 5 桁以上の数字を入力します。
姓	エンドユーザの姓を入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、“”、および空白です。
ミドルネーム (Middle Name)	エンドユーザのミドルネームを入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、“”、および空白です。
名	エンドユーザの名を入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、“”、および空白です。

表 2: デバイスの割り当て

フィールド	説明
[製品のタイプ (Product Type) ]	ドロップダウン リストから、このエンドユーザに関連付けるデバイスの種類を選択します。
MAC アドレス	新規ユーザに関連付けている新しいデバイスに対する一意の MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは、正確に 12 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F) で構成されます。
コーリングサーチスペース DN	ドロップダウンリストから、このユーザとデバイスを関連付けているディレクトリ番号の発信コーリングサーチスペースを選択します。
コーリングサーチスペース電話	ドロップダウンリストから、このユーザとデバイスに関連付けている電話のコーリングサーチスペースを選択します。
[外線電話番号マスク (External Phone Number Mask) ]	<p>関連付けられたデバイスからの外部発信 (アウトバウンドの) コールの発信者 ID 情報のフォーマットに使用するマスクを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マスクには最大 24 文字を含めることができます。有効な文字として、0 ~ 9、*、#、および X を指定します。</li> <li>• 発信者 ID 情報として表示するリテラル文字を入力し、X を使用して関連付けられたデバイスのディレクトリ番号を表します。</li> <li>• マスクとして 972813XXXX を指定する場合、外線通話に使用されるルートパターンで外線電話番号マスク オプションがオンになっていると、内線番号 1234 からの外部コールで発信者 ID 番号として 9728131234 が表示されます。主なアテンダント番号を表すために 9728135000 のようなリテラル文字のマスクを指定すると、そのリテラル番号 (9728135000) が、関連付けられたデバイスからの外部コールの発信者 ID として表示されます。</li> </ul>

フィールド	説明
内線番号	新しいユーザおよび電話の内線番号を入力します。使用できる文字は、0～9、?、[, ]、+、-、*、^、#、!です。 このフィールドは、エンドユーザのプライマリ電話番号を表します。エンドユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。
[ルートパターン (Route Pattern) ]	ドロップダウンリストから、拡張フィールドで指定したディレクトリ番号のパーティションを選択します。
ボイス メール プロファイル (Voice Mail Profile)	ドロップダウンリストから、ディレクトリ番号のボイス メール プロファイルを選択します。 システム デフォルトを使用するには、[なし (None) ]を選択します。
[エクステンションモビリティの有効化 (Enable Extension Mobility) ]	エクステンション モビリティを有効にするには、このチェック ボックスをオンにします。 新しいユーザを追加すると、ユーザ管理 > エンドユーザ メニュー オプションを使用して、エクステンション モビリティ プロファイルを選択できます。

## アプリケーションユーザとデバイスの関連付け

アプリケーションユーザが制御できるデバイスを関連付けることができます。アプリケーションユーザは、電話などのデバイスを制御できます。ユーザとして特定されたアプリケーションは、CTI ポートなどの他のデバイスを制御できます。アプリケーションユーザが電話を制御できる場合、短縮ダイヤル、コール転送など、その電話機の設定を制御できます。

### はじめる前に

[エンドユーザとデバイスの関連付け](#), (2 ページ) .

### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[ユーザの管理 (User Management) ] > [アプリケーションユーザ (Application User) ] を選択します。

が表示されます。

- ステップ 2 [アプリケーションユーザの検索/一覧表示 (Find and List Application Users) ] ウィンドウで、[検索 (Find) ] をクリックします。
- ステップ 3 アプリケーションユーザのリストから、該当するアプリケーションのユーザのリンクをクリックします。
- ステップ 4 [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration) ] ウィンドウから、[デバイス情報 (Device Information) ] エリアまでスクロールします。[使用可能なデバイス (Available Devices) ] ボックスで、アプリケーションユーザに関連付けするデバイスを選択し、ボックスの下にある下向き矢印をクリックします。  
デバイスが [制御デバイス (Controlled Devices) ] ボックスに移動します。
- ステップ 5 使用可能なデバイスのリストに追加するには、次のボタンのいずれかをクリックします。
  - [別の電話を検索 (Find more Phones) ] : このアプリケーションユーザに関連付ける別の電話機を検索します。
  - [別のルートポイントを検索 (Find more Route Points) ] : このアプリケーションユーザに関連付ける CTI ルートポイントを検索します。
  - [別のパイロットポイントを検索 (Find more Pilot Points) ] : このアプリケーションユーザに関連付けるパイロットポイントを検索します。
- ステップ 6 アプリケーションユーザに割り当てるデバイスごとに、ステップ 5 を繰り返します。
- ステップ 7 [保存 (Save) ] をクリックします。

## ユーザとエンドポイントの関連付けに関する連携動作と制約事項

### ユーザとエンドポイントの関連付けに関する連携動作

表 3: ユーザとエンドポイントの関連付けの連携動作

機能	データのやり取り
CTI制御不可のデバイス	H.323 デバイスなど CTI 制御が不可能なデバイスの場合は、使用可能なデバイス リストのデバイス アイコンの横にアスタリスク (*) が表示されます。

機能	データのやり取り
Cisco エクステンション モビリティ	Cisco Extension Mobility 機能を使用して、Cisco Unified IP Phone を一時的にエンドユーザの電話として表示するように設定できます。エンドユーザは電話にサインインでき、そのエンドユーザの Extension Mobility プロファイル（回線、短縮ダイヤル番号を含む）が電話に配置されます。この機能は主に、エンドユーザが物理的な電話に永続的に割り当てられない環境に適用されます。
IM and Presence Service	Cisco Unified Communications Manager の管理を使用して、エンドユーザを IM およびプレゼンス サービス サーバノードとエンドユーザのクラスタに割り当てると、IM およびプレゼンス サービスの可用性およびインスタント メッセージング サービスを受けることができます。

## ユーザとエンドポイントの関連付けに関する制約事項

表 4: エンドポイントが関連付けられたユーザの制約事項

制約事項	説明
エンドユーザ情報の変更	エンドユーザの情報は、LDAP サーバとの同期が有効になっているときのみ変更できます。LDAP サーバとの同期が有効になっているかどうかを確認するには、[システム (System) ] > [LDAP] > [LDAP システム (LDAP System) ] を選択します。

